



Since 1877

令和8年度
第1回
貴重資料展示

学習院大学図書館所蔵貴重資料 『錦絵と古写真で見る学習院の歴史』

明治10（1877）年10月17日、神田錦町において華族学校開業式が行なわれました。この開業式については、翌日の10月18日の『読売新聞』では以下の通り報じられています。

昨日は兼て新聞に出して有る華族学校の開校式にて主上と皇后宮が臨御に成り供奉の方々は三條公、岩倉公、徳大寺、萬里小路、杉、吉井、鍋島其ほかの諸君と女官は高倉典侍其ほかにて有栖川宮、東伏見宮、閑院宮、山科宮※、伏見宮もおいでになり（後略）

この時、明治天皇より校名を「学習院」と賜わり、次いで「学習院」の勅額が下賜され、現在の学習院が創立されました。

今回展示する資料は、開業式後の宴会を想像して描かれた錦絵「東京華族學校學習院宴會圖」と、同年頃に撮影された古写真「神田錦町時代の校舎」の複製を展示いたします。写真には現戸山キャンパスの正門も写っていますので、展示から学習院の歴史を感じていただけたら嬉しいです。

※原文では「山科宮」と表記されているが、現在は「山階宮」とされる。

学習院大学図書館

○錦絵「東京華族學校學習院宴會圖」



展示資料名 東京華族學校學習院宴會圖

責任表示 周延 [画]

出版事項 東京府：松下平兵衛，明治 10[1877]

形態 3 枚；37×75cm

注記 1 枚の大きさ：37×25cm

「錦絵」とは

浮世絵の多色摺り木版画の総称。1765（明和 2）年に江戸の趣味人の間で絵暦の競作が流行、これに参加した浮世絵師鈴木春信（1725-70）が彫師、摺師と協力して技術を開発し「吾妻錦絵」と名づけて商品化しました。1780（安永 9）年頃以降、錦絵以外の浮世絵版画はほとんど制作されなくなり、江戸後期から明治期には、浮世絵版画と錦絵はほぼ同意語となりました。浮世絵木版画の加彩法として、技法上も種々の改良や工夫が加えられ、もっとも発達した最終段階のもので「江戸絵」とも呼ばれました。19 世紀に入ると数十色もの色版を使ったものも現れて、幕末にはその極限に達しました。

「橋本周延」とは

橋本周延（はしもと-ちかのぶ）／1838-1912／幕末-明治時代の浮世絵師。1838（天保 9）年 8 月 8 日生まれ。越後（新潟県）出身。名は直義、号は楊洲。歌川国芳、三世歌川豊国について二世芳鶴を名乗りましたが、その後、豊原国周に入門して周延と号しました。美人画にすぐれ、1879（明治 12）年、絵画共進会で褒状受与されました。江戸城大奥の風俗画である『千代田之大奥』『千代田之御表』などや、明治開化期の女性の風俗を描いた「真美人」シリーズなどで知られています。1912（大正元）年 9 月 29 日死去。75 歳。

○古写真「神田錦町時代の校舎」



展示資料名 学習院正面（神田錦町）

撮影年 明治 10[1877]頃

形態 27×21cm

注記 台紙の大きさ：39×33cm

東京帝国大総長を務めた長與又郎より寄贈された写真で、明治 10 年頃に撮影されたと考えられます。

校舎手前の铸铁製の門は、現在戸山キャンパスの正門となっています。製作は埼玉県川口の鋳物工場で、唐草文様をあしらった和洋折衷の鉄門は、明治初年の文明開化時の様式と技術を伝えています。この門は学習院の所有を一旦離れますが、卒業生有志の運動によって昭和 5（1930）年に目白の本院構内に戻り、昭和 25（1950）年に戸山に移されました。昭和 48（1973）年 6 月には「学習院旧正門」の名称で国指定の重要文化財となっています。



また、写真では分かりづらいですが、正面玄関唐破風の下には、華族学校開業式にて、明治天皇より校名を「学習院」と賜った際に下賜された「学習院」の勅額が掲げられています。

※勅額は霞会館記念学習院ミュージアムでレプリカを見ることができます。



おわりに

学習院大学デジタルライブラリーでは、貴重書をオンラインで閲覧できます。

■ 学習院大学デジタルライブラリー

<https://glim-op.glim.gakushuin.ac.jp/>



< 参考文献 >

- 1) きノウ華族学校の開校式 出席の天皇が仁孝帝の偉業をしのび学習院と命名 . 読売新聞, 1877-10-18, 朝刊, ヨミダス, <https://yomidas.yomiuri.co.jp/>, (参照 2026-03-17).
- 2) “橋本周延”. 日本人名大辞典. Kodansha, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2026-3-17) .
- 3) 鈴木重三. “橋本周延”. 日本近代文学大事典. The Museum of Modern Japanese Literature, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2026-3-17) .
- 4) 小林 忠. “錦絵”. 世界大百科事典. Heibonsha, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2026-3-17) .
- 5) 浅野秀剛. “錦絵”. 日本大百科全書 (ニッポニカ) . SHOGAKUKAN, <https://japanknowledge.com/library/>, (参照 2026-3-17) .
- 6) “学習院旧正門【戸山①】”. 院史小辞典 (抜粋版) PDF, 40p. <https://www.gakushuin.ac.jp/houjin/kikaku/history/pdf/jiten.pdf>, (参照 2026-3-19) .
- 7) 画像の出典：戸山キャンパス正門 <https://www.gakushuin.ac.jp/houjin/kikaku/history/>, (参照 2026-3-19) .
- 8) 画像の出典：勅額 <https://www.gakushuin.ac.jp/houjin/kikaku/history/>, (参照 2026-3-19) .

学習院大学図書館所蔵貴重資料
『錦絵と古写真で見る学習院の歴史』

発行日：令和 8 年 4 月 1 日

発行者：学習院大学図書館



2027 年 学習院は創立 150 周年を迎えます